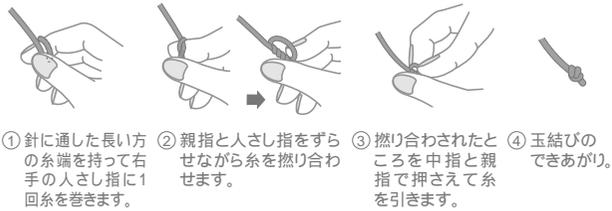


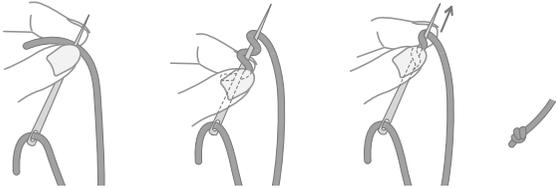
### 玉結び 糸が布から抜けないように糸端に作ります。

#### 指先で玉結び



- ① 針に通した長い方の糸端を持って右手の人さし指に1回糸を巻きまわす。
- ② 親指と人さし指をずらせながら糸をすり合わせます。
- ③ すり合わされたところを中指と親指で押さえて糸を引きまわす。
- ④ 玉結びのできあがり。

#### 針先で玉結び



- ① 針に通した長い方の糸端と針先を合わせ、左手の親指と人さし指で軽く押さえます。
- ② の部分を針に2回くらい巻き付けます。
- ③ 巻いたところを押さえて、糸端まで針を引き抜きます。
- ④ 玉結びのできあがり。

### CHECK! 指ぬきを正しく使ってキレイな縫い目

指ぬきは金属製のものと皮製の2種類。上手に利用すれば、針の通りの悪い布も、ラクに縫えます。針を持つ時の必需品。



金属製



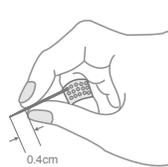
皮製

#### 指ぬきのはめ方



中指の第1関節と第2関節の中間に。

#### 針の持ち方

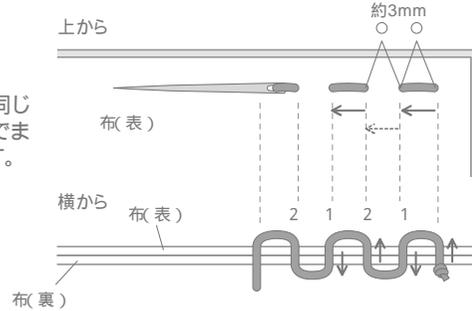


針穴の方を指ぬきにあてて親指と人さし指で軽くつかみます。

0.4cm

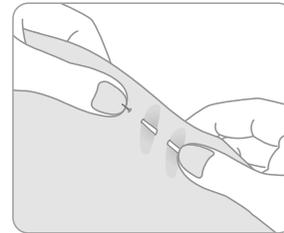
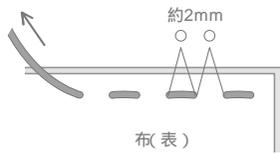
### 並ぬい

2枚の布を表裏同じ針目(約3mm)でまっすぐに縫います。

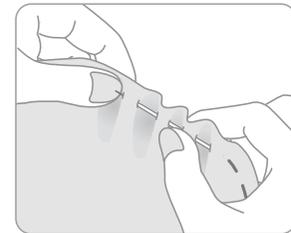


### ぐしぬいに挑戦してみましょう!

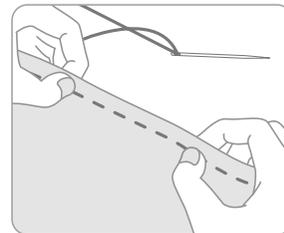
並ぬいと同じ縫い方で、細かい針目(約2mm)で縫います。一般的な手ぬいの作品によく使われる方法です。



- ① 針が布に通りやすいように、左手で持った布を上下させてリズムをとりながら、布に針1~2mm間隔で通していきます。



- ② 一度に何針も通すので、布がたまってきます。ときどきたまった布ののばします。

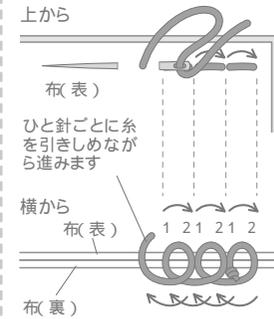


- ③ 玉どめを作る前に、親指の腹で縫い目をしごいて糸を落ち着かせます。こうすると布がつかれるのを防ぐことができます。

### 返しぬい しっかり縫い合わせたいときに使います。

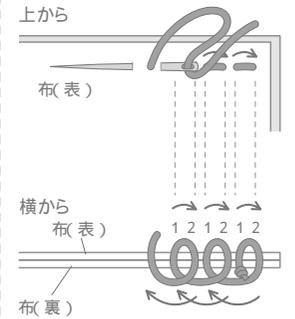
#### 本返しぬい

ひと針ずつ前の針目に返しながら、そのつど糸を引きしめて縫います。



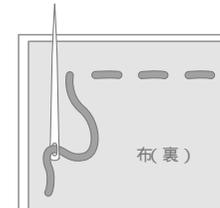
#### 半返しぬい

本返しぬいの半分だけ針を返して縫い進みます。



### 玉どめ

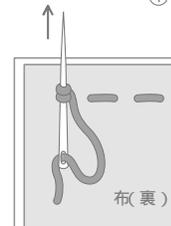
縫い終わりで布の裏側に作ります。



- ① 糸の出ている根元に針をあて、親指と人さし指で押さえます。



- ② 出ている糸を針先に2回くらい巻きまわします。



- ③ 親指で押さえて針を引き抜きます。



- ④ 糸端を少し残して、はさみで切ります。



- ⑤ 玉どめのできあがり。